

地域を元気にするため ガンバルぞく

農事組合法人 八坂

NPO法人アグリサポートネット会員 戸来昭男

「農事組合法人 八坂」は
花巻市湯本の北湯口一集落を
拠点とする農業法人です。

花巻市街の北西、花巻温泉
郷の北部に位置する郷社「八
坂神社」の隣にあるというの
で訪ねてみました。

神社境内のスギは推定樹齢
300年以上で樹幹82mと花
巻市の天然記念物に指定され、
境内には多様な樹木が生育し
静寂な空間があります。本尊
は牛頭天王で、征夷大将軍坂
上田村麻呂（758～811）
が奥羽討伐の折、この社に祈
願したとか。明治初期に八坂
神社と改称されてからも村の
鎮守には変わりはなく尊厳を

保っています。

これまでの経過

北湯口一集落は総戸数93戸、
うち、農家64戸の集落です。

米生産調整は昭和44年に試
験的に行われ、同45年から本
格政策が導入されてから42年
余経過していますが、北湯口
一集落の全耕作面積93haのう
ち87haで水稲主体の農業経営
が行われてきています。米生
産調整が始まってからは小麦
や雑穀類の栽培にも取り組ん
できています。

これまで、国の施策に対応
しながらも歴史ある地域の農
地を守り、集落活性化を図る

ため、戸別の水田転作対応か
ら平成16年に任意組織の麦転
作組合を設立、平成18年に八
坂農業生産組合に再編して農
業経営力向上に努めてきてい
ます。

しかし、近年における北湯
口一集落の農業実態は担い手
不足、農業従事者の高齢化、
若者の担い手不足、農業機械
類の更新問題、農産物価格低
迷等による農業所得減少が続
き、農業経営力が低下してき
ています。

また、経済の国際化が一段
と進み、国内農業を取り巻く
環境も大きく変化しているこ
とも影響して農業投資意欲の

会社の概要

名称●農事組合法人 八坂
代表●代表理事 伊藤泰徳
設立●平成23年4月1日
構成員●45名
役員等●理事7名、監事2名
出資金●895万円
売上額●4,700万円
電話&FAX●0198-27-2512

経営内容

経営面積●87ha（うち、利用権設
定面積は50ha）
作目●水稲50ha、小麦8ha、
飼料米9.5ha、ヒエ7.3ha、
そば2ha、ピーマン
0.3ha、たまねぎ（契約
栽培）0.3ha
施設●水稲育苗ハウス6棟（792
㎡）、農業機械車庫1棟、
事務所1棟
農業機械●トラクタ（自社1台、リー
ス5台）、田植機（自社1台、
リース5台）、汎用コンバ
イン1台、乾燥機1台



代表理事 伊藤泰徳さん



地域の子供会行事「ピーマン収穫体験」の支援活動



将来の担い手を期待



法人の水稲育苗ハウス

低下につながってきています。

このため、地域の将来方向を見据えるため「北湯口一の農業を考える会」を発足させ、多様な情報収集を行いながら集落で意見交換を通じて勉強会を続けています。

山積している地域課題の検証を進めるうち、戸別農業経営の収入だけでは所得確保が難しくなってきたこと、自分たちの世代で優良農地

(美田)を荒らすことは許されないし、継承する責任があること、これまで自分たちが作

った米は農協系統販売しているが、購入していただいている多くの顧客に支えられていることなどを改めて感じています。

集落で勉強会の積み重ねにより、地域農業活性化の受け皿として平成23年4月1日、転作組合を母体にした任意組

織から法人格を有する「農事組合法人八坂」を設立することができました。

取り組み状況

平成24年の経営概況は経営内容に示すとおりですが、経営面積は集落内の9割以上が当法人に集積され、基盤となる水稲のうち品種は「ひとめぼれ」、モチ品種は「ヒメノモチ」を3ha栽培しています。

特に、これまで任意組合で農作業受委託を主体に79haを耕作してきましたが、農業法

人化を契機に平成5年に制定された「農業経営基盤強化促進法」による利用権設定等促進事業を活用して小作利用権設定(契約期間6年以上)した水田50haを含め87haまで拡大しています。

また、小作料は標準額より高く設定していますが、「水利費」を豊沢川土地改良区に当法人が直接支払う場合と地権者が直接支払う場合、当然な

がら水利費負担相当額の小作料の差はありますが、ほとんどは、水利費含みの小作料設定をしています。

任意組織から法人化したことにより、組織運営、生産管理、販売対策、財務管理、労務・雇用管理等の適正管理運営が強く求められ、構成員への経営内容の情報公開も求められることとなり、各理事は、総務、水稲、雑穀、園芸の担当部門の管理運営に責任を持って取り組んでいます。

水稲部門の栽培管理等は7人のオペレーターを中心に行っていますが、このほか法人構成員が自己申告で作業員登録を行い、登録者所有の農業機械リース(長期間の賃貸)と作業希望内容、就業日・時間等を調整してから出役して、作業効率化、コスト削減対策に取り組んでいるところです。

また、現在、法人構成員が所有しているトラクタ等の農業機械は可能な限り当法人が

農業機械を賃借りしています
が、今後、戸別の農業機械更
新は禁止しコスト削減に努力
しています。

一方、水稲育苗管理、栽培
管理、収穫・出荷調製管理作
業などは、人手による作業が
多いことから、常勤パート4
〜5名を雇用（冬期間を除く）
しています。田植えや収穫ピ
ーク時には1日あたり15〜16
人を雇用し、更には、ピーマ
ン栽培等を行い構成員や家族
の働く場を確保するよう努め
ています。

生産コスト削減対策は各分
野の課題ですが、湛水直播栽
培を主食用米の水稲栽培2ha、
飼料用米（品種…つぶゆたか）
栽培73haで行いましたが、次
年度以降も省力化、低コスト
化に向けて面積拡大を図り経
営改善と安定化に反映してい
きます。

農事組合法人八坂の初年度
の経営実績は、全体売上高が
4,700万円余りですが、

製品売上げのほとんどは「米」
に特化しています。

また、営業外収益では諸制
度からの助成金収入が相当額
ありますが、財務内容が数字
で一層明確になったことから
次年度の経営改善と長期的経
営体質強化に取り組んでいく
こととしています。

園芸部門はピーマンの露地
栽培と、たまねぎの契約栽培
に取り組んでいますが、特に
女性の長期雇用対策として園
芸部門の拡大は重要と考えて
います。

また、子供は地域の宝であ
り「食と農」の教育活動支援
活動として、子供会の夏休み
行事のピーマン収穫体験にほ
場を解放し、体験学習を通じ
て「食」の大切さを知り、将
来の農業者に育つことを期待
して応援しています。

課題と解決方策

①法人化したことで認知度、
信用度が高まり近隣地域から

の耕作依頼もあり経営面積は
拡大すると見込まれますが、
中核となる人材育成・確保と
リーダー養成が当法人の課題
です。当面は構成員の中から
スーパーバイター（定年
帰農者）を確保し対応すると
しても、近い将来、地域内か
ら若手の正社員や専従の理事
を配置するよう考えていると
ころです。

②法人経営基盤が稲作に特
化しているため、毎年の作柄
や米価変動に影響されやすい
体質を抱えていることも事実
で、今後、当法人を維持発展
させるためには、米生産量の
安定確保、高品質生産、低コ
スト生産等の課題があります。
当法人の水田ほ場は重粘土
が多く小麦栽培では排水不良
による湿害、連作障害の影響
から生産性が低く、暗きよ施
設の老朽化も排水不良の大き
な要因です。

このため、田畑輪換も可能
な地下水水位制御システム（F

O.E.A.S）等をモデル導入し、
生産性向上と高品質生産を実
現できないか模索しています。

③当法人の経営安定と所得
確保は構成員の生活上、最重
要課題です。

一方、周年雇用確保のため
には自社生産した農産物の加
工生産、販売戦略構築も含め
た6次産業化への取り組み、
顧客開拓も経営の高度化を図
るために需要であると考え、
現在、構成員が所有している
果実酒の醸造免許を活かす方
法も考えています。

農事組合法人八坂が直面し
ている課題は全国各地で見ら
れる課題でもあります。

こうした中、稲作栽培を主
体として農地・水利保全、農
村文化の伝承、人材育成等、
法人として集落営農に取り組
み、地域農業振興を持続的に
発展させ「地域を元気にする」
活動に大きな期待を感じてい
ます。